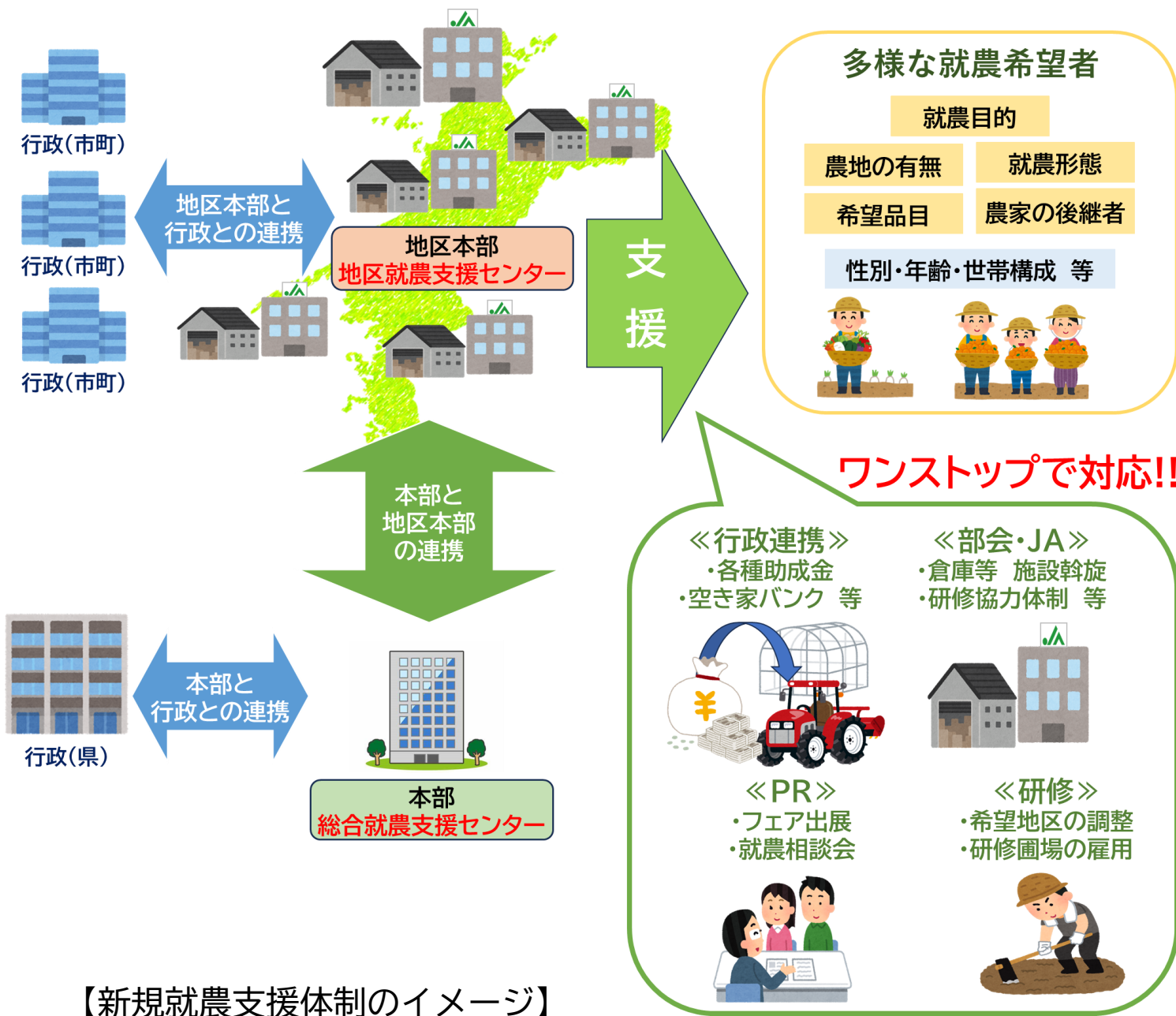


県1JA構想について ～こんなJAを目指しています～

かわら版

Vol. 5 新規就農者を新たな担い手へ！

第5号となる今回は、愛媛県の農業生産基盤の維持・拡大に向けた担い手対策はどうなるのか。県1JA構想で検討をすすめている新規就農支援の検討方向をご紹介します。



農業者の高齢化・減少により、担い手不足や耕作放棄地が増加し、農業生産基盤の維持・拡大が困難な状況となることが想定されます。

県1JAでは、今以上に行政や関係団体と連携を深め、次世代を担う新規就農者や後継者の育成・確保に対応することによって、地域農業の維持・拡大に取り組みます。

新規就農支援の検討方向

生産者・JA・行政等の連携による就農相談機能の強化に向け、「就農支援センター」を設置します。

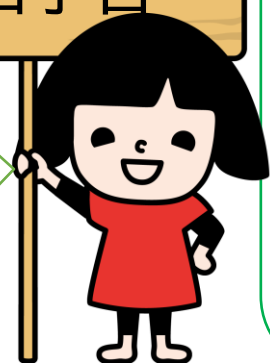
就農支援センターでは、就農希望者の確保・育成・定着・資金相談など、就農希望者の様々なニーズに対応するワンストップ相談体制を構築します。

就農支援センターの取り組み

- ① 就農者確保対策
県内外での就農相談会を開催し、就農希望者のニーズを踏まえて、希望栽培品目の経営モデルの提案や、研修先・雇用就農先の紹介など、新規就農者確保に向けた取り組みを実施します。
- ② 担い手育成支援
就農後も継続的に営農指導サービスを提供し、営農をサポートします。
- ③ 地域定着支援
就農希望者が安心して営農を営み、地域に定着できるように、農家組合員や生産部会との接点づくりをはじめ、地域への溶け込み支援を行います。
- ④ 営農資金支援
就農者の様々な資金ニーズ（開業や規模拡大による設備投資等）に対して、活用できる補助金の提案などと併せて、就農支援センターがワンストップで対応します。

次回予告

今回は組合員サービスの向上対策について解説するよ！



えみ
笑味ちゃん
©よい食プロジェクト

県1JAにかかるご意見・ご要望 はこちらまで!!

本年(R6年)12月に開催予定のJA愛媛県大会に向けて、県1JA構想を検討しています。よりよい構想づくりをすすめるため、組合員の皆さまからの県1JA構想にかかる率直なご意見・ご要望をお聞かせください。

